|  |
| --- |
| **２０２０年度　事業報告****社会福祉法人　やまだ福祉文庫****生活介護事業所****自　　　然** |

２０２０年度　事業報告

**もくじ**

1. 事業の目的
2. 基本方針
3. 利用者の状況について
4. ２０２０年度利用者入所状況
5. ２０２０年度月別入所状況
6. ２０２０年度利用者退所状況
7. 入所者の当施設利用前の状況
8. 前年度からの状況
9. 利用者性別・年齢別構成
10. 知的障害状況（療育手帳）
11. 障害程度区分
12. 通所手段
13. 居住地構成
14. 居住先状況
15. 施設サービス利用率
16. 職員研修
17. 行事　　施設行事、地域行事、その他行事
18. 災害事故防止対策
	1. 非常災害対策
	2. 安全運転管理
19. 給食について
20. 健康管理
21. 創作活動
22. 地域福祉について
	1. 地域交流
	2. 日中一時支援サービス
23. 作業活動報告
	1. 農耕班
	2. 園芸班

**－１－**

**１．事業の目的**

知的障害者福祉法及び障害者総合支援法に基づき、利用者一人ひとりの能力や適性及びニーズに応じて、生活支援、就労支援のサービスを提供し自立した日常生活、社会生活が確立できるよう支援する。

　知的障害者福祉法の基本理念と関係法令及び省令等に基づき、その利用者に対して、その自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、必要な訓練及び職業の提供を適切に行い、出来るかぎり居宅に近い環境の中で、地域や家庭と結び付きを重視した支援を行う。

**２．基本方針**

施設の基本方針

（１）利用者の人権を大切にし、利用者一人一人としっかり向き合い個々のニーズにあった支援

（２）利用者・家族から、信頼を得られるサービスの提供

（３）地域との連携

**３．利用者の状況について**

1. ２０２０年度利用者入所状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 定　員 | 入　　所 |
| 男　　性 | 女　　性 | 計 |
| ２０２０年度 | ２０名 | ３名 | １名 | ４名 |

（２０２０年４月1日～２０２１年３月３１日現在）

1. ２０２０年度月別入所状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
| 男性 | １名 | ０名 | １名 | ０名 | １名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ３名 |
| 女性 | ０名 | ０名 | １名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | １名 |
| 計 | １名 | ０名 | ２名 | ０名 | １名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ４名 |

（２０２０年４月1日～２０２１年３月３１日現在）

1. ２０２０年度利用者退所及び利用中断状況

|  |  |
| --- | --- |
|  | 退　所　理　由 |
| ２０２０年度 | 男性 | ３名 | 他施設利用・その他 |
| 女性 | ３名 | 他施設利用・その他 |

（２０２０年４月1日～２０２１年３月３１日現在）

**－２－**

1. 入所者の当施設利用前状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 在宅 | 特別支援学校 | 生活介護 | 就労移行 | 就労継続 | その他 | 計 |
| 入所 | 通所 | Ａ | Ｂ |
| 男性 | １名 | １名 | ０名 | １名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ３名 |
| 女性 | ０名 | ０名 | ０名 | １名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | １名 |
| 計 | １名 | １名 | ０名 | ２名 | ０名 | ０名 | ０名 | ０名 | ４名 |

（２０２０年４月1日～２０２１年３月３１日現在）

1. 前年度からの状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 入所総数 | 退　　　　　　　　　　　　所 | 現員 |
| 就労 | 他施設 | 在宅 | 死亡 | その他 | 計 |
| 男性 | １７ | ０ | １ | ０ | ０ | ２ | ３ | １８ |
| 女性 | ８ | ０ | ２ | ０ | ０ | １ | ３ | ６ |
| 計 | ２５ | ０ | ３ | ０ | ０ | ３ | ６ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

1. 利用者性別・年齢別構成

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １８～１９歳 | ２０～２９歳 | ３０～３９歳 | ４０～4９歳 | ５０～59歳 | ６０～６９歳 | 計 | 平均年齢 |
| 男 | ０ | １０ | ４ | ３ | １ | ０ | １８ | ３０．８歳 |
| 女 | ０ | ３ | ２ | ０ | ０ | １ | ７ | ３７．３歳 |
| 計 | ０ | １３ | ６ | ３ | １ | １ | ２４ | ３２．５歳 |

（２０２１年３月３１日現在）

1. 知的障害状況（療育手帳）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 障害程度区分性別 | 最重度 | 重度 | 中度 | 軽度 | **合計** |
| -１ | -２ |  | Ａ-１ | Ａ-２ | Ｂ-１ | Ｂ-２ |
| 男性 | ４ | ３ | ０ | ８ | ０ | ３ | ０ | １８ |
| 女性 | ０ | ２ | ０ | ４ | ０ | ０ | ０ | ６ |
| **計** | ４ | ５ | ０ | １２ | ０ | ３ | ０ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

1. 障害程度区分

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 |
| 男性 | ３ | ３ | ５ | ７ | １８ |
| 女性 | ０ | １ | ２ | ３ | ６ |
| 計 | ３ | ４ | ７ | １０ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

**－３－**

1. 通所手段

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 送迎利用 | 徒歩 | 保護者送迎 | 計 |
| 男性 | １８ | ０ | ０ | １８ |
| 女性 | ５ | ０ | １ | ６ |
| 計 | ２３ | ０ | １ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

1. 居住地構成

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 香取市 | 旭市 | 匝瑳市 | 銚子市 | 多古町 | 計 |
| 男性 | １３ | １ | ２ | ２ | ０ | １８ |
| 女性 | ５ | ０ | ０ | ０ | １ | ６ |
| 計 | １８ | １ | ２ | ２ | １ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

（１１）　　居住先状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 自宅 | 施設（短期入所） | グループホーム | 計 |
| 男性 | １４ | ０ | ４ | １８ |
| 女性 | ４ | ０ | ２ | ６ |
| 計 | １８ | ０ | ６ | ２４ |

（２０２１年３月３１日現在）

**４．施設サービス利用率**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 稼働日数 | 利用者数 | 総日数 | 総出席数 | 総欠席数 | 利用率 |
| ４月 | ２２日（在宅支援含） | ２５名 | ５５０日 | ３０９日 | ２４１日 | ５６．１％ |
| ５月 | ２３日（在宅支援含） | ２５名 | ５７５日 | ４００日 | １７５日 | ６９．５％ |
| ６月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ５０２日 | ４８日 | ９１．２％ |
| ７月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５５７日 | １８日 | ９６．８％ |
| ８月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５５４日 | ２１日 | ９６．３％ |
| ９月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ５３８日 | １２日 | ９７．８％ |
| １０月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５５８日 | １７日 | ９７．０％ |
| １１月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ５３０日 | ２０日 | ９６．３％ |
| １２月 | ２３日 | ２５名 | ５７５日 | ５４５日 | ３０日 | ９４．７％ |
| １月 | ２２日 | ２５名 | ５５０日 | ４７４日 | ７６日 | ８６．１％ |
| ２月 | ２０日 | ２４名 | ４８０日 | ４５６日 | ２４日 | ９５．０％ |
| ３月 | ２３日 | ２４名 | ５５２日 | ５４０日 | １２日 | ９７．８％ |
| 合　　　計 | ６，６５７日 | （５，９６３）日 | （６９４）日 | 平均　８９．５５％ |

（２０２０年４月１日～５月６日までは在宅支援業務。５月７日からは通常の支援業務を再開）

（２０２１年３月３１日現在）

**－４－**

**５．職員研修**

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、参加予定であった殆どの研修自体が中止や延期となる。そんな状況下でも利用者一人ひとりとしっかり向き合い、個々のニーズにあった支援を目指し、且つ職員全員で一貫した支援ができるよう施設内研修に取り組んだ。

【研修実績報告】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 研修内容 | 参加者 |
| ５月１２日 | 感染症の基礎知識 | 全職員 |
| １１月６日 | 安全運転管理者法定講習会 | 宮﨑　達也 |
| １１月２０日 | 新型コロナウイルス感染症対策について | 全職員 |
| １月２１日 | 新型コロナウイルス感染症の感染（疑い）者、濃厚接触者への適切な対応について | 全職員 |

（２０２１年３月３１日現在）

**６．行事**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 行　　事 | 月 | 行　　事 |
| ４月 | 在宅支援により中止 | １０月 | サツマイモ収穫　インフルエンザ予防接種 |
| ５月 | いちご狩り　（新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、中止） | １１月 | スポーツレク　制作 |
| ６月 | 個別面談（新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、書面と電話で実施） | １２月 | 大掃除　クリスマス会　冬季特別休暇　制作 |
| ７月 | 創作活動　健康診断 | １月 | 星宮神社参拝　制作 |
| ８月 | 夏季特別休暇　制作 | ２月 | 節分豆まき　ボッチャ大会 |
| ９月 | 散策　 | 　３月 | 制作　スポーツレク　散策 |

（１）施設・地域行事、その他活動

（２０２１年３月３１日現在）

新型コロナウイルス感染症により４月１日から４月１０日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により４月

１５日から５月６日まで休業とした為、行事を実施することができなかった。

休業後の活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、密集・密接・密閉を避けた分散での活動や、集団での移動手段も限られてしまう状況で、当初計画していたお花見や、香取神宮参拝等の外出行事を予定どおり行うことが出来なかった。その為、今年度は施設周辺の散策や、旧八都第二小学校の運動場や体育館の利用許可の申請をし、コロナ禍でもできるだけ体を動かす機会を多く設けた。また、利用者がクリスマス会に向けて壁掛け用クリスマスツリーや、松ぼっくりツリーを制作し、クリスマス会は園庭をメイン会場にすることで、３密を避けつつも一体感を持ち、手作り感満載の温かみのあるクリスマス会を実施することができた。一月には、徒歩で近隣の星宮神社に一年の健康と安全を祈願しに参拝へ行き、施設到着後にお汁粉を食す等、今できる事をその都度考え行事に取り入れ実行した。

-5-

**７．災害事故防止対策**

（１）非常災害対策

◆目的◆

火災、地震等の災害時における利用者の避難誘導体制の強化・確立を目指し、職員の防災に対する意識の高揚を図る。

【避難訓練実績報告】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 訓練内容 |
| ７月１１日 | 日中地震・火災想定　（初期消火訓練　初期動作　避難訓練　通報訓練） |
| ３月１１日 | 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた日中地震想定　（初期動作　避難訓練、通報訓練） |

（２０２１年３月３１日現在）

◆今年度を振り返って◆

　今年度は４名の新しい利用者が増え、新体制での防災訓練を実施した。東日本大震災から十年を経過しようとしているが、各々の地震に対する意識が低下してきているように感じられる。分散での活動においても、常時災害に対する意識を持ち、職員一人一人が通常業務に取り組めるよう訓練を行った。また、新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、避難場所を変更し間隔を置いて並べるよう立ち位置をテープで区切り、利用者が戸惑うことなく安全に避難できるよう訓練を実施した。

（２）安全運転管理

◆交通安全への取り組み◆

・　　日常点検、交通安全教育の実施

* 運転日誌の記録
* 運行計画の作成
* 安全運転指導、安全運転ポスターの掲示
* 異常気象時等の措置
* 賠償責任保険や自動車保険の加入等、万全の態勢で取り組んでいる
* 送迎車内の消毒（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）
* 乗車前の検温と利用者及び家族の体調確認（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）
* 手指消毒（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）
* 送迎車内の換気（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）

**８.給食について**

◆給食での主な取り組み事項◆

・　　衛生管理の徹底

・　　各種点検記録整備

・　　温かい食事、リクエストメニューの提供

・　　行事食の充実

・　　市場価格調査実施

-6-

◆今年度の給食運営◆

　利用者が何よりも楽しみにしている給食については、今まで通り月に一度の嗜好調査を行い、聞き取りや料理の写真から選択してもらい、利用者がリクエストしたメニューを献立に反映させてきた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策（食事の際は会話を控える・座席の間隔を空け対面を避ける・悪天候以外は食堂とテラスで食べる等）に留意し提供を行った。

食べる姿勢や箸の持ち方等の正しい食事マナーを身に付け、楽しくゆっくりと食事ができるよう取り組み、おかわりの量は適量且つ他者を気遣えるよう声掛け・見守りを行った。

【嗜好調査反映報告】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 反映されたメニュー | 月 | 反映されたメニュー |
| ４月 |  | １０月 | 混ぜご飯　ちらし寿司 |
| ５月 | カレーライス | １１月 | 目玉焼きのせ焼きそば　シチュー |
| ６月 | 野菜のトマト煮 | １１月 | ローストチキン　ピザ　唐揚げ |
| ７月 | ビビンバ丼 | １月 | 麻婆豆腐　餃子 |
| ８月 | 唐揚げカレー | ２月 | エビフライ |
| ９月 | シチュー | ３月 | 豚肉とニンニクの芽の炒めもの |

（２０２１年３月３１日現在）

**９.健康管理**

利用者は年齢、障害の程度、体力等にそれぞれ差があり、自分の体調不良を言葉で伝えることが困難な利用者もいる。送迎に行った際に保護者とのやりとりを通じ情報を得た事項は、職員全員に報告し情報交換する等、利用者の体調を常に把握し意識してきた。また年１回の健康診断を実施し、施設全体の健康管理に留意すると共に季節ごとに流行する病気などの情報をもらい、うがい・手洗いの励行等、感染の未然防止に努めてきた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用者だけでなく家族の健康状態も留意し、３７．５℃以上の発熱や体調不良時は、利用を控えていただく等の対策を行うと共に、正しい手洗い（手指消毒）とマスクの着用が習慣となるよう取り組み、また施設内の消毒も実施し、できる限りの感染防止対策を実施した。

【感染の予防】

　　　・手洗い、うがいの徹底、インフルエンザワクチン予防接種

職 員　　　１３名

　　　　　　利用者　　　２４名

※２０２０年度　インフルエンザ　感染者　０　人　（２０２１年３月３１日現在）

【健康診断】

・　検査内容　（血液検査、尿検査、心電図、胸部X線検査）　　実施者　１６名　（年１回）

**－７－**

【健康管理と観察】

・　検温　（乗車前・施設到着後・昼食前・帰宅前）・　体重測定　（毎月１日）

利用者個々の睡眠状況や食事摂取量・排泄・活動・癖やこだわり、表情に留意し、いつもと違う箇所を発見できるよう、家族との情報共有や、利用者の健康状態を常に注意深く観察し把握することにより、異常の兆候をできるだけ早く発見することが重要であり、異常が確認された場合には一早く対応できるよう、保健所や相談支援事業所等と連携を図ってきた。

**１０．創作活動**

多くの利用者が楽しみにしていたカラオケは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、実施することができなかった。今年度は、制作・ＤＶＤ鑑賞・ゲーム・色塗り・パズル・体力づくり等、利用者が選択し参加できるよう取り組んできた。制作活動ではいつも控えめにしている利用者が活動的になり、自らできる事やりたい事を見つけ、自然な形で他者との関わりを持ち活動している姿が印象的であった。また、天気の良い日には施設周辺の散歩、運動場や体育館で体を動かすことで、利用者が真剣に集中して取り組むと同時に、笑い合いリフレッシュできるよう、メリハリを付けた活動ができるよう支援してきた。

**１１．地域福祉について**

（１）地域交流

地域交流を兼ね、共存型の地域コミュニティーを実現するために、地域イベントに参加し、地域社会の活性化を目指すとともに、障害者、支援者と地域住民との交流を図る予定であったが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止になった為交流を図ることができなかった。また、新型コロナウイルス感染症により店舗に来客は無く、利用者が週に一度新型コロナウイルス感染拡大防止対策に配慮しながら利用を楽しまれていた。来年度も、より良い地域交流の場となるよう世情に合わせ店舗を運営していく。

　　【年間売上】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 商　品 | 売　上 | 備　考 |
| 店舗　　（通年） | 団子・大判焼き・かき氷 | ８６，７４０円 |  |

（２０２０年４月1日～２０２１年３月３１日現在）

（２）日中一時支援サービス

◆内容◆

日中一時支援サービスや特別支援学校、在宅者等の現場実習生を受け入れ、施設の専門機能を提供してきた。障害者等の日中における活動の場（施設における預かり・見守り）を確保し、緊急的な対応から計画的利用など、利用者または家族のニーズに柔軟に対応できるサービスを行っている。日常的に介護している家族

（介護者等）の一時的な負担軽減を図り、地域で生活する児童・成人の方で、日中に介護者がいない場合に日中一時支援サービスを利用できる。

**－8－**

**◆**日中のサービス**◆**

　　　・　自然の日課に沿って過ごしてもらい、施設体験を兼ねて充実した１日を過ごしてもらえるよう取り組んだ。
　　　　　　　作業・・・農業・園芸・室内作業　　　　　　　　余暇・・・レクリエーション・創作活動等

【日中一時支援サービス利用実績報告】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 性別 | 利用人数 | 利用回数 | **計** | 月 | 性別 | 利用人数 | 利用回数 | **計** |
| ４月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** | １０月 | 男性 | ２名 | １２回 | **１２回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ５月 | 男性 | １名 | １１回 | **１１回** | １１月 | 男性 | ２名 | ９回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ６月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** | １２月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ７月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** | １月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ８月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** | ２月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| ９月 | 男性 | １名 | ３回 | **３回** | ３月 | 男性 | ０名 | ０回 | **０回** |
| 女性 | ０名 | ０回 | 女性 | ０名 | ０回 |
| **合　　　計** | **２６回** |

（２０２１年３月３１日現在）

**１２.作業活動報告**

利用者個々の希望や、障害及び身体の状況に応じた２班体制で、作業技術の習得及び働く喜びを得るとともに、人との関わりの大切さを知ることにより、自主性を高め、自立した生活を送ることができるよう支援を行ってきた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、室内や密集しての作業は控え、外での作業内容の提供を心掛け取り組んできた。

**－9－**

２０２０年度　作業指導報告

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業部署名 | 農耕班 | 担当支援員 | 宮﨑達也　加瀨千秋　鈴木敦功　元宮勉 |
| **目　　標** | 1. 大根や、からし菜等、積極的に漬物へ加工し、販売を行う。
2. 土壌改良を重視し、年に一度は堆肥を搬入する。
3. 作付けを行う品種を厳選し、収穫できる野菜の品質向上を目指す。
4. 作付け計画を基に、作付け時期、収穫時期等を逃さないよう、取り組んでいく。
5. 必要な道具を、必要な時に、効率よく使用するため、機械のメンテナンスや手入れを怠らず、適正に運用する。
6. 防虫や病害虫、霜対策を徹底し、早期発見、対策に努める。
7. 収穫した野菜は、厨房への納品に拘らず、皆さんのご家庭でも味わって頂けるよう、品質の向上を行う。
8. 日々の作業の中で、利用者さんとの信頼関係を構築出来る様、取り組んでいく。
9. 常に作物と向き合い、よりよい品質の作物を収穫できるよう、取り組んでいく。
10. 利用者さんが、楽しんで取り組める作業を提供する。
11. やりがいを持ち、作業意欲を向上出来るように、色々な作業を提案するとともに、職員の技術向上を図る。
 | **年間作業報告** |
| ４月 | 新型コロナウイルス感染症により通常業務自粛の為、作付け中止 |
| ５月 | 夏野菜定植葉物播種ネギ土寄せサツマイモ定植 |
| ６月 | 夏野菜定植葉物播種ジャガイモ収穫 |
| ７月 | 夏野菜収穫外注作業 |
| ８月 | 夏野菜収穫畑整備からし菜播種 |
| ９月 | 畑整備外注作業 |
| **作業内容** | 1. 利用者さんが行った作業については、必ず支援員が確認をおこない、より精度の 高い作業を行う。
2. 清潔な環境、調理器具で作業を行えるよう、整理・整頓・清掃を徹底する。
3. 作業が場当たり的にならぬよう、計画を立て、それらの計画に基づき、取り組んでいく。
4. 窒素冷蔵庫を、適正に使用し、収穫した野菜を、新鮮なうちに提供できるよう、取り組んでいく。
5. 利用者の表情や様子を注意深く観察し、体調の変化を見逃さないようにする。
6. 気温や季節に合わせた服装で作業に臨むことができているか、作業前には確認を行う。
7. 共通の目的を持ち、目標を達成する為に、農耕班全員が一丸となり、良いコミュニケーションを図りながら、取り組んでいく。
 | 10月 | 畑整備外注作業サツマイモ収穫 |
| 11月 | 畑整備大根播種葉物播種 |
| 12月 | ハウス内整備倉庫周辺整備倉庫内清掃 |
| 1月 | ハウス内整備倉庫内清掃施設内整備 |
| ２月 | ハウス内整備畑整備作業道具片付け |
| ３月 | ハウス解体作業ジャガイモ植え付け大根播種 |
| **今年度の事業運営報告** | 今年度は、新型コロナウイルス感染症により４月１日から５月７日まで通常業務自粛を行い、感染対策に努めました。作業では、この通常業務自粛期間中は整備をすることしかできず、作付けを行うことが出来ませんでした。また、感染対策もはっきりしないまま作業を行うことに不安があり、また利用者さんも少数であった為、自粛期間明けは計画通りに取り組むことが出来ませんでした。利用者さんの通所人数が通常に戻り、感染対策も明示され、例年通りとはいきませんでしたが作付け計画に沿って取り組んでいきました。夏野菜は、ナス・ピーマン・シシトウ・スイカ・マクワウリ等を植え付け、主に給食で食べられるよう納品し、皆で収穫した喜びを分かち合えるよう取り組みました。収穫量は例年より少なかったですが、給食に使用する量は確保できたので来年度も同様に取り組んでいきます。しかし、品質に関しては、まだまだ向上しなければいけない部分があると思います。収穫時期を逃さない。甘味・辛味をだす工夫。薬剤の使用方法等、もっと知識・技術の向上が必須だと思います。ダイコンやコマツナ、ホウレンソウは味・品質ともに例年通りに収穫できました。来年度も続けて取り組めるよう努力していきます。秋冬期には、ダイコンをはじめ、葉物（コマツナ・ホウレンソウ）、からし菜を栽培しましたが、満足のいく量・品質ではありませんでした。からし菜については、霜が降りないため辛味が出ず、また気温が高い傾向であったため、生育が進んでしまい辛味のないまま収穫時期を迎えてしまう事がありました。天候に関してはどうしようもできないので、種子の選抜から吟味し、どんな状況下でもおいしい野菜を栽培できるようにしていこうと思います。利用者さんが、作業に関してどのような感情で取り組んでいるのか、作業で何がしたいのか等、利用者さんの立場になって物事を考えることが必要だと思いました。ただ目の前の作業をこなすだけではなく、利用者さん一人一人が作業を通じて技術を向上させたり、新しい何かに興味をもてるようになったりなど、作業が楽しくもあり、大変な物事であると感じられるような作業を提供しなければいけないと思います。来年度は、支援員の農業に関する技術・知識の向上はもちろんの事、作業を利用者さんにとってより良い物となるように日々の作業に利用者さんと共に取り組んでいきます。 |
| **２０２０年度農耕班売り上げ明細** |  |  |
| 品名 | 単価 | 数量 | 金額 |
| コマツナ | ２００ｇ　1００円 | ２２袋 | ¥2,200 |
| ホウレンソウ | ２００g　1００円 | １０袋 | ¥1,000 |
| からし菜漬け | １袋２００ｇ　１００円 | ３９袋 | ¥3,900 |
|  |  |  |  | 総売上 | ¥7,100 |
|  |  |  |  |  |  |
|

|  |
| --- |
|  |

 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|

|  |
| --- |
|  |

 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

２０２０年度　作業指導報告

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業班名 | 園芸班 | 担当支援員 | 　日下部由美子　　野口てるみ　　林健之　向後純子　箕輪瞳 |
| 目　　標 | 1. 季節に応じた花苗を園庭に定植し、施設周辺に花が絶えないようにする。
2. 施設周辺整備や、施設内の清掃を行っていく。
3. 作業棟の整理整頓、作業道具の後片付け・管理を徹底し美化に努める。
4. 利用者個々に合わせた支援をし、作業に参加できるよう取り組んでいく。
5. 見守りやマンツーマンでの対応が必要な利用者も安全に過ごせるよう支援していく。
6. 外注作業は、発注先からの作業指示や納期等を意識して取り組んでいく。
7. 流れ作業をするうえで重要な、自分の役割を最後まで責任を持ってやり遂げることの大切さや、仕事をすることの厳しさ、面白さを体感できるようにする。
8. どのような作業でも班全員で団結して取り組み、楽しんで作業できるよう努める。
 | 年　間　作　業　報　告 |
| ４月 | 新型コロナウイルス感染症及び感染防止対策により休業 |
| ５月 | 園庭花壇整備育苗作業 |
| ６月 | 園庭花壇整備施設内整備外注作業 |
| ７月 | 園庭花壇整備施設内整備外注作業 |
| ８月 | 園庭花壇整備施設内整備外注作業 |
| 作　業　内　容　 | 1. 園庭や花壇に毎日目を向け、天候や気候に合わせて、水やり・除草・追肥等の管理を怠らないよう努める。
2. 除草作業や芝の管理を怠らない。
3. 作業後は必ず支援員が確認を行い、ハウス内・作業棟の整理整頓を定期的に行う。作業で使用する道具・工具の手入れや掃除を行い、大切に使用していく。
4. 利用者一人一人に目を向け、常に向上心を忘れず支援していく。
5. 外作業だけでなく室内での活動も並行して行い、見守りが必要な利用者も安全に過ごせるよう取り組んでいく。
6. 外注作業では、利用者各々の能力に合わせた作業道具を支援員が工夫し提供すると共に、声掛けしながら共に作業を進めていく。
7. 外注参加者が一丸となれるような作業内容の工夫をし、達成感が持てるよう取り組んでいく。
8. 支援員が笑顔で作業や手本を示すことで、利用者が楽しみながら向上できるように支援していく。
 |
| ９月 | 園庭花壇整備バラ剪定　冬花播種外注作業 |
| １０月 | 園庭花壇整備施設内整備外注作業 |
| １１月 | 花苗定植　外注作業施設内整備園庭花壇整備 |
| １２月 | 園庭花壇整備花苗定植外注作業 |
| １月 | 施設内整備　外注作業園庭花壇整備 |
| ２月 | 園庭花壇整備外注作業　葉物播種 |
| ３月 | ルッコラ収穫　外注作業園庭花壇整備 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 今年度の事業運営報告 | 今年度は、新型コロナウイルス感染症及び感染防止対策により4月から5月上旬にかけて休業し、通所が再開してからも、3密やフィジカルディスタンス等の新しい生活様式に慣れることを優先し、作業内容を縮小しての活動を行い、通常の作業が出来るようになったのは6月後半と、だいぶ出遅れてのスタートであった。園庭花壇管理では、休業前に播種したペチュニア・マリーゴールド・ケイトウ・ミニひまわり等の育苗管理は主に支援員が行うことで、何とか定植時期に間に合い花を咲かせることができた。花殻摘みと追肥や水撒き等協力して行い、作業を通して他者との関わりが持てるよう取り組んできた。９月には冬用花壇の播種を行い、ポット移植は分担を決め段取り良く進めることができた。その後も発育が順調であったが、定植後１２月中旬以降の強い冷え込みや霜と寒風により、ストックが傷んだり枯れたりしてしまった。パンジーについてはもう少し早く開花できるよう、温度管理をしながら８月中旬には播種ができるように改善し、来年度も花苗やプランターに寄せ植えし販売できるよう計画していく。また、７月中旬には作業棟前にミニトマトとパプリカのプランター栽培にも挑戦し、特にミニトマトの果実は真っ赤で光沢があり、しかもフルーツのような甘味もあり、収穫を楽しみにされていた利用者も多く、収穫したてのミニトマトをその場で食し大好評であった。パプリカは緑色から黄色になるまで日数はかかるが、色づくまでの変化を楽しみながら収穫し、昼食のサラダや炒め物で食材として使用した。また、２月にはアタリヤ農園から頂いたプランターを利用し、ルッコラやベビーリーフの栽培にも挑戦した。小さい種をピンセットで摘まみ、幾つもの種が飛び散りながらではあったが、手をプルプル震わせ眉間にしわを寄せながら真剣な表情で播種する方や、思いっきりが良く迷うことなく間引きする方等、利用者の個性が際立ち、賑やかな中で栽培することができた。収穫時期も丁度良く、美味しく食すことができた。２月から３月にかけて土手沿い整備に力を入れ、寒い時期ではあるが、汗をかきながら木の根を掘り、生き生きとした表情で他者と土を耕す等、集中して整備を行うことができた。また、整備後ネモフィラを定植し開花が楽しみである。アタリヤ農園の外注作業では、プチ用土入れや栽培キットの受注がコンスタントにあった。外注作業は、天候や気温に左右されず室内での作業となる為、園芸班だけでなく多くの利用者が携わり、協力することの大切さや働くことの喜びを分かち合うことができるよう支援を行ってきた。また、プチ用土入れに関しては多くの利用者が外注作業に携わることができたが、栽培キットについては若干難易度が高い為、関わる利用者が限られてしまった。来年度は栽培セットの組み立てに携われる利用者が増えるよう取り組み、今年度も８月と３月に工賃を支払うことができたので、今後も利用者の自信に繋がるよう支援をしていく。来年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策における、新しい生活模式をこれまで以上に定着させつつ、明るい雰囲気の中でメリハリのある活動ができるよう取り組んでいく。 |  |

**《２０２０年度アタリヤ農園外注工賃》**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **外注内容** | **個数** | **工賃** |
| **栽培セット説明書折り** | **４，１００枚** | **２，２５５円** |
| **プチ用土入れ** | **６，７１９個** | **３６，９５５円** |
| **球根ネット入れ** | **１１，１６７個** | **３７，８７５円** |
| **スリープ証票貼り** | **９，４８０枚** | **５，４９１円** |
| **ダンボールシール貼り** | **５５６枚** | **７０９円** |
| **栽培セット** | **８，８３０個** | **１３７，３６０円** |
|  | **合計** | **２２０，６４５円** |

（2020年4月1日から2021年３月31日まで）

**《２０２０年度花苗売り上げ》**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **花苗** | **単価** | **個数** | **合計** |
| **パンジー** | **５０円** | **２８３個** | **１４，１５０円** |

（2020年4月1日から2021年３月31日まで）